

それが何かを決し
て考えてはいけな
い

少し盆地のようになった山に囲まれた街。

山の近く、片隅にあるそこそこオシャレな木の小屋の
屋根からとある夜、

白い・・・・・・やけに大きな物体が

空に向けて登っていく。

量はとても多い。

木の小屋の持ち主の老人は今、

まだ新しさも残っていて使えるので、その小屋を

近々カフェにしようかと計画している。

.....。

不気味に上り続ける白い大きな物体。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。